

平成28年 死亡災害発生状況一覧表

宮崎労働局

番号	災害発生月	事故の型	起因物	業種	性別	年齢	経験期間	災害の概要
1	2月	はさまれ、巻き込まれ	エレベータ、リフト	木材・木製品製造業	男	30代	20年	木材の上げ下ろしのためのテーブルリフターが設置された地下ピット（深さ約1m）内において、被災者は当該テーブルリフターの油圧シリンダーを修理していたところ、突然降下し始め、身体を挟まれた。
2	2月	交通事故（道路）	トラック	卸売業	男	20代	2週間	取引先への配達を終え、被災者はトラックを運転し会社に戻っていたところ、片側1車線の直線道路でトラックが横滑りし、道路脇の電柱に激突した。
3	3月	墜落・転落	地山、岩石	木材伐出業	女	50代	20年	被災者はチェーンソーを使用して、急斜面（勾配約50°）の立木の伐採を行っていたところ、バランスを崩し、急斜面を滑落した。
4	4月	墜落・転落	送配電線等	電気通信工事業	男	20代	6年	既設鉄塔から新設鉄塔へ電線移設中、被災者は移設する電線の上（高さ約50m）で、当該電線に安全帯を掛け作業していたところ、電線を固定していた専用金具から電線が抜け落ち、電線とともに墜落した。
5	5月	有害物等との接触	異常環境等	畜産業	男	40代	2年	焼酎粕の入った貯蔵タンク（直径約2m、高さ約2.5m）から、ポンプを介して小分け用のタンク（約1m四方の立方体）に移し替える作業を行っていた作業者が、貯蔵タンク上部のマンホール（直径80cm）からタンク内に入ったところ、酸素欠乏により倒れた。救出のため同タンクに入った作業者も倒れた。
6	6月	高温・低温の物との接触	高温・低温環境	木材伐出業	男	60代	50年	午後3時頃、立木の伐採作業を行っていた被災者に同僚が作業終了を告げたが、その後被災者が集合場所に来なかったため、再び同僚が被災者に声を掛けに行ったところ、熱中症により斜面に倒れている被災者を発見した。被災者は病院に搬送されたが、4日後に死亡した。
7	7月	その他	起因物なし	病院	男	20代	3ヶ月	事務職に従事していた被災者が、過重労働による心理的負荷により精神障害を発症し、自宅にて自殺した。
8	7月	墜落・転落	締固め用機械	道路建設工事業	男	60代	26年	被災者は、現場事務所から施工場所まで測量器具を徒歩で運んでいたところ、後ろからタイヤローラーが走行してきたため同乗させてもらい、搭乗用ステップに乗り込んだ。約100m走行した地点に段差（約5cm）があり、車体が跳ねた反動で被災者が搭乗用ステップから転落した。
9	9月	墜落・転落	作業床	バス業	男	70代	14年	被災者は、会社敷地内でトラックの誘導を行っていたところ、渡り橋の上から4m下の側溝に転落した。
10	9月	墜落・転落	足場	橋梁建設工事業	男	30代	10年	被災者は、コンクリート橋のつり足場の組立作業を行っていたところ、組立中の足場板から約14m下に墜落した。
11	11月	墜落・転落	伐木等機械	木材伐出業	男	40代	4年	被災者は木材グラブブル機を運転し、私道（幅員2.7m）に倒れている伐倒木を谷側の路肩に寄せていたところ、木材グラブブル機が路肩から約60m下に転落した。
12	11月	墜落・転落	ローダー	一般貨物自動車運送業	男	50代	21年	被災者はフォークローダーを運転し、一人でチップの集積作業を行っていたところ、フォークローダーを後進させた際に岸壁の車止めを越え、海に転落した。
13	12月	交通事故（道路）	トラック	その他の建設業	男	20代	4ヶ月	被災者はトラックを運転し、同僚を乗せ塗装工事現場に向かっていたところ、緩やかな左カーブを通過した後ふらつきながら中央線をはみ出し、対向車の大型トラックと正面衝突した。
14	12月	崩壊・倒壊	金属材料	その他の金属製品製造業	男	40代	17年	製造する鋼管の原料であるコイル（幅10cmの鋼板がドーナツ状に巻かれたもの）置場において、立てて保管しているコイルの倒れ止めを被災者が外したところ、コイル1巻（直径1.64m、厚さ10cm、重量1.52t）が被災者に倒れ、当該コイルと床面との間に挟まれた。
15	12月	交通事故（道路）	トラック	道路建設工事業	男	20代	4ヶ月	被災者は2台トラックを運転し、土場から現場に向かっていた。被災者は、片側2車線の緩やかな下りの左カーブで、前方追越車線を走行していたトラックを走行車線から追い越し、追越車線に進入したところ、そのまま中央分離帯を乗り越え対向車2台と衝突し、1.5m下の側道に転落した。